

看護や作業療法に魅力

総合医療専門学校オープンキャンパス

高校生、保護者ら模擬体験

玉野総合医療専門学校 生と保護者ら約150 学校生活の魅力に触れた。校は22日、オープンキャンパスを開催した。

キャンパスを開催した。て、医療や福祉を専門的に学ぶことができる。保健看護、理学療法、作業療法の3学科ごとに教室に分かれて開催。看護師や保健師を目指す保健看護学科では、高校生が白衣を着た同校学生の補助を受け、点滴の滴下速度の調節、滅菌した器具の扱い方などを体験した。



作業療法学科では、動物と接することで高齢者らの心を癒やす「動物介在療法」の紹介があった。参加した高校生は、動物との関わりを通して人の感情表現が豊かになり、睡眠が安定するといった効果があることを学び、実際に介護施設などで活動するボーター

作業療法学科では、

動物と接することで高

齢者らの心を癒やす

「動物介在療法」の紹

介があった。参加した

高校生は、動物との関

わりを通して人の感情

表現が豊かになり、睡

眠が安定するといった

効果があることを学

び、実際に介護施設な

どで活動するボーター

コリー2匹と触れ合っ
た。「この学校は先生と学
生が気軽に話せる距離
で、作業療法士になり

たい気持ちで頑張る
感じがいいと感じた。動
物介在療法のような自
然に元気になれる楽し

年富田菜月さん(16)は
然に元気になれる楽し
みを感じた。」と話した。
(内田貴大)

(C) 山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。